

新しい公共の場づくりのためのモデル事業 採択事業一覧

高根県NPO活動推進室

番号	事業概要		事業主体	
	事業名称	概要	協議体、行政、団体名	対象地域
1	ツアーコーディネーター養成による新たな観光形態と収入機会の創出	<p>隠岐の地域資源を生かした観光振興策として、現在官民上げて隠岐ジオパークの世界登録推進に取り組んでいる。風待ち海道倶楽部が主体となって、民の力でジオパークの適切な管理・運営と魅力的なガイドツアーによる観光振興と継続的な発展のため、以下の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「隠岐ジオパークガイド協会(仮称)」を設立し、ツアープログラムの造成、認定ガイド制度の導入、ソーシャルメディアを活用した情報発信 ・上記協会の活動基盤の整備を図るため、自主財源確立の取組みとして、寄附付商品の開発、隠岐ジオパークファン倶楽部などに取組み、2年後のNPO法人化をめざす 	<p><協議体名> 隠岐ジオパーク戦略会議 <団体> 風待ち海道倶楽部 <行政> 隠岐の島町教育委員会</p> <p><主な会議体構成団体> 隠岐自然倶楽部、島後とぎの会、株式会社ワコムアイティ、隠岐汽船株式会社、隠岐の島町観光協会、藤井基礎設計事務所</p>	隠岐の島町
2	テーマコミュニティとエリアコミュニティの融合による新しい支えあいの仕組みづくり事業	<p>地域が抱えている様々な課題を、NPO法人や社会福祉法人等の専門的な知識を有する「テーマコミュニティ」と、市内20カ所に設置される地区振興センターや自治会等で形成される「エリアコミュニティ」、この2つがそれぞれ連携協働して新しい支えあいの仕組みを構築することにより、これまで解決できなかった課題の解決に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ支援事業 ・活動・組織基盤強化事業 	<p><協議体名> 益田市市民活動推進協議会 <団体> NPO法人アンダンテ21 <行政> 益田市地域振興課</p> <p><主な会議体構成団体> 益田市保育研究会、NPO法人コアラッチ、社会福祉法人益田市社会福祉協議会</p>	益田市
3	島の「新しい公共」を担うソフトパワー創出事業	<p>人と人とのつながりを重視した島ファンの確保を通じた観光振興に戦略的に取り組むため、観光協会が主体となり以下の事業を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「島の料理長」を採用し、島の食材を利用した「食」やおもてなしに「島基準」を設定し、魅力あるサービスの提供・継続を行う ・現在ある地域通貨「ハーン」を改革改善し、島外の加盟店や顧客にとっても魅力ある商品と感じてもらえるような制度・運用を行う ・上記取組みを通じて、観光協会を法人化し、今後の事業が担える体制づくりを行う 	<p><協議体名> 海士町ソフトパワー創出推進協議会 <団体> 海士町観光協会 <行政> 海士町交流促進課</p> <p><主な会議体構成団体> (株)海士、海士交通、海士町漁協、JAどうぜん海士支所、(株)潮風ファーム、岩ガキ生産組合(株)、NPO法人海士人、隠岐商工会</p>	海士町
4	新しい公共による黒沢地区まちづくり事業	<p>黒沢地区まちづくり推進委員会(公民館単位に、地域内の自治会代表、NPO法人、企業等により設置されたまちづくりのための任意団体)と浜田市が連携・協働することによって、これまで手がつけられなかった農地や里山の保全に取り組み、将来にわたって住み続けられる地域づくりの基盤となる人材や地域資源活用の仕組みづくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山復活活動、村のコンビニ事業等 	<p><団体> 黒沢地区まちづくり推進委員会 <行政> 浜田市三隅支所自治振興課</p> <p><主な会議体構成団体> NPO法人あいの会、黒沢公民館</p>	浜田市
5	共同受注・共同配送による買い物弱者支援事業	<p>これまで各事業者が個別に行ってきた販売や配達などのサービスを、「ごようききコールセンター」により注文・相談などの受付を一元化、多様な主体と連携し、在宅高齢者配食サービス網などを活用して、サービス提供の新たな仕組みづくりを行い、いわゆる「買い物弱者」「生活弱者」を支援する。当初は松江市内のモデル地区を対象とした事業として開始、24時間体制でのサービス提供の採算性を検証し、モデル地区外へも拡大する。</p>	<p><協議体名> ごようきき 三河屋プロジェクト協議会 <団体> NPO法人まちづくりネットワーク島根 <行政> 松江市市民生活相談課</p> <p><主な会議体構成団体> モルツウェル株式会社、株式会社みしまや、株式会社メディアスコープ、NPO法人プロジェクトゆうあい</p>	松江市
6	さくらおろち湖周辺地域再生事業	<p>今年度末に完成予定の尾原湖周辺地域(雲南市、奥出雲町)が、行政の垣根を越えて結束、地域活性化に向けた取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダム湖周辺の景観整備 ・魚釣りスポット整備 ・ヤマタノオロチ伝説発祥の地PR ・尾原ダム、周辺地域の活動のTV番組制作 	<p><協議体> 尾原ダム地域づくり推進連絡協議会 <団体> NPO法人さくらおろち <行政> 雲南市ダム対策課、奥出雲町地域振興課</p> <p><主な会議体構成団体> 温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会、布勢地区尾原ダム活性化対策協議会、三沢</p>	雲南市 奥出雲町
<p><震災対応枠></p>				
7	東日本大震災被災者支援事業	<p>東日本大震災により被災された方々をボランティア・NPO等の連携により支援する。</p> <p><県内支援> 県内避難者(被災者)支援、災害ボランティア活動イベント支援</p> <p><被災地支援> 現地連絡所、連絡員の設置、現地派遣に関する交通手段の提供、避難所支援</p> <p><その他> 被災者支援活動の情報収集と発信、県内災害発生時対応に関する仕組みづくり</p>	<p><協議体名> しまね東日本大震災被災者支援事業推進協議会 <団体> 出雲市総合ボランティアセンター運営委員会 <行政> 島根県環境生活部NPO活動推進室</p> <p><主な会議体構成団体> 出雲市、県社協、出雲市社協、日赤島根県支部</p>	県内及び被災地

新しい公共モデル事業進捗状況①

(事業名：ツアーコーディネーター養成による新たな観光形態と収入機会の創出事業)

団体名 隠岐ジオパーク戦略会議
(担当：戦略会議 野辺氏)

<会議の実施状況>

定例会：毎月1, 2回の頻度で開催 計6回実施
各取り組みの関係者協議は随時実施している

<事業関係>

1. 自主財源確立に資する事業

- (1) ソーシャルアプリ(寄附付き商品)の開発・販売
IT関係事業者と協議を進めている
- (2) ファンドレイジング勉強会
日本ファンドレイジング協会主催のフォーラム(2月)に参加予定
- (3) 隠岐ジオパークファン倶楽部
 - ・12月のファン倶楽部立ち上げに向け準備中
 - ・会員の募集、掘り起こしは観光協会と連携を図り実施

2. ガイド協会機能の育成に資する事業

認定ガイド制度の導入

- ・ガイド育成講座：11～3月に10回程度の開催を予定
- ・ガイドについては、5～10名を育成する予定

3. その他

○多様な主体との連携について

- ・月に1, 2回は必ず定例会開催し、関係者の意思疎通を図りながら実施できている。

○ブログ「隠岐ジオパーク戦略会議のブログ」

アドレス <http://blog.canpan.info/okigeo/>

新しい公共モデル事業進捗状況②

(事業名：テーマコミュニティとエリアコミュニティの
融合による新しい支え合いの仕組みづくり事業)

団体名 益田市市民活動推進協議会
(担当：益田市地域振興課 岡崎氏)

<会議の実施状況>

設立総会 7月14日

定例会 8月1日～現在までに8回実施

その他、随時関係者協議(関係団体、地区住民との協議)

<事業関係>

1. エリアコミュニティ支援事業

(1) 地産地消保育所給食事業

○実施方法：益田市保育研究会

○オープニングセレモニー

日時：11月13日(日) 14時

場所：益田市市民学習センター

内容：地産地消に係る映画上映

ワークショップ(每熊氏)

2. 活動組織基盤強化事業

(1) 寄附の教室

○実施方法：事務局・市

○10月31日：寄附の教室(中西小学校)

ファンドレイジング協会

(2) 森に入ろうプログラム

○実施方法：NPO法人アンダンテ21

○関係者協議等実施中

(3) レジ袋削減活用プロジェクト

○実施方法：NPO法人コアラッチ

○関係者協議等実施中

(レジ袋基金の設立検討)

3. 事務局体制

事務所設置、サポートスタッフ配置

4. その他

○苦労している点

・それぞれの「思い」の調整

・事業執行の方法

○多様な主体との連携について

・民間団体は特にスピーディに対応

○ブログアドレス <http://smiledesk.exblog.jp/>

新しい公共モデル事業進捗状況③

(事業名：島の「新しい公共」を担うソフトパワー創出事業)

団体名 海士町ソフトパワー創出推進協議会

(担当：海士町交流促進課 青山氏)

<会議の実施状況>

- ・協議会の会議は月1回として定例化している
- ・各取り組みの関係者とは随時協議を実施

<事業関係>

1. 島基準の策定

- ・現在、観光協会において冬期間（11～3月）の観光客・視察客の招致に力を注いでおり、前年（H22冬期）比倍増の1,000人を目標に取り組みを進めている。この取り組みによって、モニタリング調査の対象を増やし、お客様目線で充実した内容の「島基準」となるよう策定を進めていく
- ・島の料理長は、8月末に着任したが、9月末で島を離れた。2人目の料理長が11月に着任する予定

2. 地域通貨「ハーン」

- ・10,000ハーン、5,000ハーンの増刷を行った
- ・町内の商店がほぼ全て取り扱いが可能となったことから、取り組みを進める環境は整いつつある。

3. 観光協会の法人化

- ・早ければ12月に法人格（一般社団法人）を取得予定
- ・雇用に関する取り組み
漁業や農業において季節限定で労働者が欲しいというニーズはあるが、年間を通じての雇用は難しく、担い手不足が問題となっている。これに対し、法人化する観光協会において雇用・派遣を行い、担い手を確保する方策を検討中

4. その他

- CANPAN登録、ブログ開設を今月末には行う予定

新しい公共モデル事業進捗状況④

(事業名：新しい公共による黒沢地区まちづくり事業)

団体名 黒沢地区まちづくり推進委員会

(担当：浜田市三隅支所 田城氏)

<会議の実施状況>

(事業採択後)

7/25 ～各種資料作成、協議

事務所物件調査、借上依頼、調整

事務所改修助成金等協議

8/30 黒沢まちづくり協議会(会議名) <実質スタート>

(助成金交付決定後)

10/4 まちづくり推進委員会役員会

(事務所改修に係る地元負担金等について協議)

10/5 ホームページ「黒沢ベース」にて本格的に情報発信開始

10/6 第3回黒沢まちづくり協議会

10/13 運営スタッフ人材募集

<事業関係>

1. 村のコンビニ

(1) 地域作りの核となる人の雇用

○人材公募中

・応募締切 11/21

・提出書類：履歴書、レポート(夢など)

・活動内容：村のコンビニ運営、地域おこし活動等

・募集人員 2名

・雇用期間：H24.1～H25.3

(2) 拠点設置

○物件(元商店)借り上げ

○施設改修：市単補助事業により改修予定

2. 事務局体制

公民館職員、村のコンビニ配置職員

3. その他

○事業開始日 9/22

○ホームページ「黒沢ベース」

アドレス <http://matizukuri.herecall.jp/kurosawa/index.html>

新しい公共モデル事業進捗状況⑤

(事業名：共同受注・共同配送による買い物弱者支援事業)

団体名 ごようきき三河屋プロジェクト協議会

(担当：松江市市民生活相談課 渡部氏)

<会議の実施状況>

- ・設立総会 7月15日
- ・定例会：現在までに3回実施
- ・モデル地区(雑賀)との協議2回実施
- ・その他、随時関係者協議実施

<事業関係>

1. モデル地区の選定
雑賀地区 2600世帯
(公民館、地区町内会連合会との連携)
2. 「雑賀地区一買い物たすけ愛」チラシの作成
・地元の商店情報を掲載し、各家庭へ配布
→買い物支援・地域経済の活性化を図る。
3. 調査業務
○視覚障がい者向けサービス
週1回みしまやの特売情報を配信・・・12月
利用者へのアンケート、検証
4. 事務局体制
○NPO法人まちづくりネットワーク島根内に
事務局を置く。
5. 課題
○社会情勢の変化
○新しい「公共」で取り組む課題
○継続可能な事業とするために
6. その他
○ブログ「まちネット活動」
アドレス <http://blog.canpan.info/machi-s>

新しい公共モデル事業 進捗状況⑥

(事業名：さくらおろち湖周辺地域再生事業)

団体名：尾原ダム地域づくり推進協議会

(担当：NPO 法人さくらおろち 土山氏)

取組項目	進捗状況	備考
景観整備	1. 岩伏山、岩内地山への登山道刈り整備 (岩伏山) 温泉側：8/7 済み, 布勢側：8/23 済み (岩内地山) 8月23日作業済み 2. 沿道ゴミ拾い 雲南市ウォーキング協会のウォーキングに合わせて実施予定	
魚釣りスポット	今春の作業は終わっているため、来春3月に実施予定	
ヤマタノオロチ伝説	1. 講演会 10月20日(木) 19:00~21:00 (於) 布勢コミュセン 講師：仰支斯里神社 石原道夫宮司 2. 現地踏査 日程：調整中 講師：同上	
伝統文化	3社中と協議 7/26 深野神楽、7/28 奥出雲神代神楽、8/8 槻屋神楽 神楽競演会：ダム湖祭り前夜祭は深野神楽の都合がつかず、実施は来春のダム湖完成式を目途に検討する 全演目収録：深野神楽は25周年記念公演(9月4日) 山陰ビデオクラフト(有) 槻の屋神楽は協議中 (既に殆どの演目が収録済み) 奥出雲神代神楽は2演目収録	
ホームページ	7/14 見積書受領、7/28 提案書受領、8/4 修正案協議 8月末開設 http://www.sakura-orochoi.jp/ ブログ(CANPAN) http://blog.canpan.info/obakyo/	
TV番組	7/11、7/21、8/12 CATV局と協議 ■企画番組(3本) 奥出雲町(布勢地区、三沢地区) ジョーホー奥出雲 雲南市(ダム湖紹介) 雲南夢ネット ■スポットコマーシャル(5本) 雲南市(ダム湖祭り、温泉ふるさとまつり、湯村ジョギング) 雲南夢ネット 奥出雲町(布勢地区文化祭、三沢地区産業文化祭) ジョーホー奥出雲	

新しい公共モデル事業進捗状況⑦

(事業名：東日本大震災被災者支援事業)

団体名：しまね東日本大震災被災者支援推進協議会

(担当：出雲市総合 VC 運営委員会 永田氏)

<会議の実施状況>

- ・支援ミーティング 20回開催 (参加者 10~39名)
- ・関係者の会合への参加 (情報交換・連携) 12回
- ・その他各取り組みの関係者協議は必要に応じて随時実施

<事業関係>

1. 県内避難者支援

- 4月9日 出雲スマイルメーカー だんだん花見会 (50名、内避難者17名)
- 5月5日 出雲スマイルメーカー 母の日の贈り物作り (37名、内避難者12名)
- 5月26日 出雲スマイルメーカー「までえ通信」創刊準備号発行
- 5月29日 東日本大震災避難生活スタート支援しまね おすそわけ市
- 6月19日 出雲スマイルメーカー「ふくしまねファーム」鍬入れ
- 6月20日 出雲スマイルメーカー「までえ通信」第2号発行
- 7月5日 東日本大震災避難生活スタート支援しまね 物品提供 (避難者5世帯8名) ~7日
- 7月16日 出雲市立光中学校 Enjoy Life (出雲紹介、出雲そば試食、交流 (13名内避難者5名))

2. 被災地支援

- 4月24日 災害ボランティアいずも支援チーム先遣隊 宮城県石巻市他での活動 (9名) ~28日
- 4月30日 TIC0 学生ボランティア島根大学医学部チーム 石巻市での活動 (7名) ~5/5
- 6月10日 支援金 (853,505円) を亘理町災害ボランティアセンターへ送金
- 6月12日 つみつく「ささやか安心空間」宮城県石巻市内小学校へ設置~17日
- 6月14日 宮城県亘理町災害ボランティア活動 (堀西) ~17日
- 6月17日 災害ボランティアいずも支援チーム2次隊 宮城県亘理町での活動 (6名) ~21日
- 7月15日 東友会 宮城県で活動 (9名) ~18日
- 8月2日 センター運営委員ボランティア活動・調査隊 亘理町~石巻市 (加持委員長、野津、岸)
- 8月10日 支援チーム3次隊 中里小学校避難所, 亘理いちごっこ支援 ~14日
- 9月11日 東日本大震災避難生活スタート支援しまね
岩手県釜石市、宮城県気仙沼市にて紙芝居ライブと支援物資の提供~15日
- 9月23日 いずも支援チーム「ささやか安心空間」の回収・イベント活動~27日 (6名)
- 9月29日 いずも支援チーム物資移送&ボランティア活動~10月4日 (2名)

3. 被災者支援活動の情報収集と発信

- ・現地連絡員として、宮城県亘理町災害 VC に大貫氏を配置 (5/18~6/30) し、支援活動に必要な情報を収集
- ・被災者等の関係者への情報提供「までえ通信」を発行
- ・ブログを通じて活動状況等を発信 アドレス<http://blog.canpan.info/shienteam/>

4. 課題等

- ・若年層 (高校生以下) に対する普及啓発をどのように行うか
- ・支援物資輸送に関する効率化
- ・人材育成